

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領(文部科学省)参照

| 学部            | 小学部   |   |   | 中学部   |   |   | 高等部   |                        |                    |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|------------------------|--------------------|
| 教科の目標         | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |   |   |   |   |   |   |                        |                    |
| 知識及び技能        | (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。                 |   |   | (1) 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。   |   |   | (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  |                        |                    |
| 段階の目標         | 1段階   | 2段階   | 3段階   | 1段階   | 2段階   | 1段階   | 2段階   |                        |                    |
| 知識及び技能        | 1<br>言葉の特徴や使い方  | ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  |   |   |   |   |   |                        |                    |
|               |   | 言葉の働き   | (ア) 話し掛けへの注目  | (ア) 言葉と気持ち、行動の結び付き  | (ア) 物事の内容を表す言葉の働き   | (ア) 経験したことを伝える働き  | (ア) 思考や感情を表す働き  | (ア) 社会生活で用いる言葉の働き      | (ア) 人間関係を構築する言葉の働き |
|               |   | と話し言葉と書き言葉  |   |   | (イ) 姿勢や口形   | (イ) 発音や声の大きさ  | (イ) 発声・発音の調整  | (イ) 相手を意識した話し方         | (イ) 話し言葉と書き言葉の違い   |
|               |   | 語彙  | (イ) 平仮名   | (ウ) 促音、長音・平仮名、片仮名、漢字  | (ウ) 同音異義語・類義語・対義語   | (ウ) 長音、拗音、促音、撥音、助詞  | (ウ) 特殊音節の活用   | (ウ) 漢字と仮名・送り仮名・句読点の使い方 | (ウ) 漢字仮名交じり文点の使い方  |
|               |   | 文章や文章の遣い葉   | (イ) 音声の高低や抑揚に触れる  | (ウ) 名詞・動詞・形容詞   | (エ) 同音異義語、多義的な意味を表す語句   | (エ) 主語と述語の関係<br>接続する語句の役割   | (エ) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の活用  | (エ) 接続する語句の役割<br>段落の役割 | (エ) 思考に関わる語彙の増加、活用 |
|               |   | 音読  |   |   | (オ) 文中における主語と述語の関係<br>助詞の使い方  | (オ) 普通の言葉と丁寧な言葉の違い<br>丁寧な言葉を使う  | (オ) 敬体と常体の違いに注意して書く   | (オ) 日常よく使われる敬語の理解と使用   | (オ) 文と文との接続の関係     |
|               | 2<br>情報の扱い  | イ 話や文章の中に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  |   |   |   |   |   |                        |                    |
|               |   | 情報の関係   | (ア) 物事の始めと終わり<br>時間や手順<br>順序立てて捉える  | (ア) 「いつ」「誰が」「何をした」<br>時間的な順序で情報を整理する  | (ア) 理由づけて説明する   | (ア) 理由や事例を挙げて説明する<br>話や文章の中心をとらえる   | (ア) 原因と結果の関係  |                        |                    |
|               |   | 情報の整理   | (イ) 図書を用いた調べ方   | (イ) 必要な語や語句を書き留める<br>考えの相違を比較して整理する   | (イ) 必要に応じて説明する  | (イ) 情報を比較、分類する  | (イ) 分解、分類、類推、系統化して情報を整理する   |                        |                    |
|               |   | 我が国の言語文化  | ウ 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。   |   |   |   |   |                        |                    |
| 3<br>我が国の言語文化 | イ 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。                     |   |   |   |   |   |   |                        |                    |
|               | 言伝語統的な文化  | 読み聞かせへの親しみ  |   |   | 言葉の響きやリズム   |   |   |                        |                    |
|               | 書写  | (ア) 昔話  | (ア) 昔話や童謡の歌詞  | (ア) 昔話や神話・伝承  | (ア) 俳句  | (ア) 短歌や俳句   | (ア) ことわざや慣用句  | (ア) 古文                 |                    |
|               | 読書  | (イ) 言葉遊び  | (イ) やり取り遊び  | (イ) 伝え合う体験  | (イ) 挨拶状(年賀状、暑中見舞い)  | (イ) 身近なことわざ   | (イ) 慣用句、故事成語  |                        |                    |
|               | (ウ) ⑦ いろいろな筆記具<br>⑧ 筆記具の持ち方、正しい姿勢(運筆の基本動作)                | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | (ウ) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ |                        |                    |
|               | (イ) 絵本  | (イ) 読み聞かせなど<br>(イ) 絵本や図鑑  | (イ) 絵本や図鑑   | (イ) 簡単な物語、詩、紀行文   | (イ) いろいろな種類の本   | (イ) 必要な知識や情報を得るため   | (イ) 自分の考えを広げるため   |                        |                    |

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

| 学部                                   |   | 小学部  |   |  | 中学部   |  | 高等部   |   |   |  |
|--------------------------------------|---|--|---|--|---|--|---|---|---|--|
| 教科の目標                                | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。                     |  |   |  |   |  |   |   |   |  |
| 思考力、判断力、表現力等                         | (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。                                   |  |   | (2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。                                     |   | (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。  |   |   |   |  |
| 段階の目標                                | 1段階   | 2段階  | 3段階   | 1段階  | 2段階   | 1段階  | 2段階   |   |   |  |
| 思考力、判断力、表現力等                         | イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 | イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 | イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 | イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 |   |   |  |
| 学部                                   |   | 小学部  |   |  | 中学部   |  | 高等部   |   |   |  |
| 内容                                   | 1段階   | 2段階  | 3段階   | 1段階  | 2段階   | 1段階  | 2段階   |   |   |  |
|                                      |   |  |   |  | 小学校1, 2年  | 小学校3, 4年   | 小学校5, 6年  |   |   |  |
| 聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 |   |  |   |  |   |  |   |   |   |  |
| 思考力、判断力、表現力等                         | A 聞くこと・話すこと   | 内話<br>内容の把握  | 教師の読み聞かせ<br>ア 音声模倣、表情身振り、簡単な言葉での表現<br>イ 身近な人の話し掛けに注目、応答                             | 身近な人の話<br>ア 簡単な事柄と語句の結び付け<br>イ 簡単な指示や説明を聞き、応じる                                     | 絵本の読み聞かせ<br>ア 出来事の大体の聞き取り   | 身近な人の話や簡単な放送<br>ア 書き留め、聞き返しによる大体の捉え<br>イ 話し事柄を思う浮かべ、伝えたいことを決定する                    | 社会の中で関わる人の話<br>ア 話し手が伝えたいことを中心の捉え<br>イ 目的に応じて伝え合うために必要な事柄の比較、選択                   | ア 話し手の目的や自分の聞きたいことを中心の捉え<br>イ 目的や意図に応じて比較・分類し、内容を検討 |   |  |
|                                      |   | 内容の検討  |   | ウ 体験したことについて考える  | イ 経験したことを基に考える  |  |   |   |   |  |
|                                      |   | 構成の検討  |   |  | ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ち   | 内容の大体が伝わる構成<br>ウ 見聞き、経験したこと、自分の意見が伝わる順序等   | 伝えたいことを明確にした構成<br>ウ 話の中心<br>ウ 話の内容  |   |   |  |
|                                      |   | 表現   | ウ 表情や身振り、音声で模倣したり、応答したりすること   | エ 挨拶、簡単な台詞   | エ 決まった言い方(挨拶、電話の受け答えなど)   | エ 挨拶や目的に応じた話し方(自己紹介、電話の受け答えなど)   |   | エ 発音や声の大きさ、速さ、必要な話し方を工夫                             | エ 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫                     | エ 自分の考えが伝わるように工夫(資料活用など)                 |
|                                      |   | 話し合い   |   |  | オ 発音や声の大きさ  | オ 伝え合った内容を基にした自分の考え  | オ 簡単な役割に沿った話し合い<br>オ 考えをまとめて物事を決定   |   | オ 目的や進め方を意識した話し合い<br>オ 意見の共通点や相違点に着目したまとめ | オ 互いの立場や意図を明確にした計画的な話し合い<br>オ 考えの広がり、まとめ |

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

| 学部           | 小学部   |  |   | 中学部  |   | 高等部  |   |                                |
|--------------|---|--|---|--|---|--|---|--------------------------------|
| 教科の目標        | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。                     |  |   |  |   |  |   |                                |
| 思考力、判断力、表現力等 | (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。                                   |  |   | (2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。                                     |   | (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。  |   |                                |
| 段階の目標        | 1段階   | 2段階  | 3段階   | 1段階  | 2段階   | 1段階  | 2段階   |                                |
|              |   |  |   |  | 小学校1,2年   | 小学校3,4年  | 小学校5,6年   |                                |
| 思考力、判断力、表現力等 | イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 | イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 | イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 | イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 |                                |
| B<br>書くこと    | 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。   |  |   |  |   |  |   |                                |
|              | 題材の設定 / 情報の収集   | ア(身近な人との関わり出来事)<br>伝えたいことを想起、選択  | ア(経験したことの身近なこと)<br>写真などを手掛かりに伝えたいことを想起、選択   | ア(身近で見聞きしたり、経験したりしたこと)<br>書きたい題材に必要な事柄を集める   | ア(見聞きしたことや経験したこと)<br>伝えたいことを選択、大まかな内容のまとめ   | 相手や目的を意識して<br>書くことを選択、伝えたいことの明確化   | 目的や意図に応じて<br>ア(書くために集めた材料を)比較、伝えたいことの明確化  |                                |
|              | 内容の検討   |  |   | イ 伝えたい事柄の順序  | イ 事柄の順序に沿った簡単な構成  | 書く内容の中心を決めて<br>イ 自分の考えと理由を明確にした文章の構成   | イ 筋道の通った文章となる文章全体の構成  |                                |
|              | 記述  | イ 文字に興味・関心   | イ 簡単な平仮名のなぞり書きや記述(自分の名前や物の名前)   | ウ 簡単な語句や短い文(見聞きしたり、経験したりしたこと)  | ウ 文の構成、語句の使い方   | ウ 事実と自分の考えの違いを相手に伝える。  | ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にする。  | ウ 事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えを伝える。 |
|              |   |  |   |  |   |  | 書き表し方を工夫  | エ 引用、図表やグラフの活用                 |
|              | 推敲  |  |   | エ(教師の指導を基に)  | エ(自分の気付きによる)  | エ 文章を読み返す習慣身に付けた知識(語と語の続き方など)を基にした確認   | エ 相手や目的を意識した表現  | オ 文章全体の構成や書き表し方                |
| 共有           |   |  | オ 感じたことを伝えること   | オ 伝え合い   | 文章に対する感想の伝え合い<br>オ 内容や表現のよいところ  | 文章に対する感想や意見の伝え合い<br>オ 書こうとしたことが明確になっているかなどの観点<br>自分の文章のよいところ                       | カ 文章全体の構成が明確になっているかなどの観点<br>自分の文章のよいところ   |                                |



【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

| 学部           |   | 小学部      |  |   | 中学部  |   | 高等部  |  |                                |
|--------------|---|----------|--|---|--|---|--|--|--------------------------------|
| 教科の目標        | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。                     |          |  |   |  |   |  |  |                                |
| 思考力、判断力、表現力等 | (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。                                   |          |  | (2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。                                      |  | (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。   |  |  |                                |
| 段階の目標        | 1段階   |          | 2段階  | 3段階   | 1段階  | 2段階   | 1段階  | 2段階  |                                |
|              |   |          |  |   |  | 小学校1,2年   | 小学校3,4年  | 小学校5,6年  |                                |
| 思考力、判断力、表現力等 | イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 |          | イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 | イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 | イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 |                                |
|              | 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。   |          |  |   |  |   |  |  |                                |
| 思考力、判断力、表現力等 | C 読むこと  | 構造と内容の把握 | 指導者と一緒に絵本  |   | 絵本や易しい読み物  | 簡単な文や文章   | 様々な読み物   |  |                                |
|              |   |          | ア 身近な事物や生き物への気づき、注目  | ア 登場するものや動作の想起  | ア 登場人物の行動や場面の様子の想像   | ア 情景や場面の様子、登場人物の心情の想像   |  | ア 登場人物の行動や心情を叙述を基に捉える  | ア 登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉える        |
|              |   |          | イ 知っている事物や出来事などを指さしなどで表現   | イ 時間の経過など   | イ 時間的な順序など   | イ 時間的な順序や事柄の順序  | イ 出来事の順序や気持ちの変化  | イ 段落相互の関係<br>考えとそれを支える理由や事例との関係  | イ 事実と感想、意見などとの関係<br>文章全体の構成、要旨 |
|              |   |          |  |   |  | 内容の大体   |  |  |                                |
|              |   |          | ウ 絵や矢印などの記号  | ウ 日常生活でよく使われている表示   | ウ 日常生活に必要な語や文、看板   | ウ 日常生活に必要な語句、文章など   | ウ 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示   | ウ 登場人物の心情や情景の具体的な想像  | ウ 人物像を具体的な想像や表現の効果             |
|              |   |          |  |   |  |   | エ 中心となる語句や文の明確化  | 精査・解釈  | 目的を意識して                        |
|              | 形成の   |          | エ 次の場面への期待、動きの模倣   | エ 好きな場面、言葉の模倣   | エ 音読したり演じたりすること  | エ 分かったことや感想を伝えること   | オ 伝えたことを基に感じ方の違いに気付くこと   | オ 理解したことを基に感想や考えをもつこと  | オ 理解したことを基に考えをまとめること           |
|              |   |          |  |   |  | エ 中心となる語や文を基にした要約   | エ 文章と図表を関連付けた読み取り<br>必要な情報の取捨選択  |  |                                |